

概 況

平成24年4～6月期の出荷数量は、前年同期に比べ、土木向け、建築向け共に増加し、13,736.6千^m₃、前年同期比9.7%の増加となった。

1．需要先別の動向

土木向けは4,953.3千^m₃、前年同期比8.0%と前期に引き続き増加となった。このうち鉄道・電力向けは520.4千^m₃、同 3.7%、道路向けは1,277.7千^m₃、同 1.4%と減少となったものの、港湾・空港向けは470.4千^m₃、同50.3%、その他向けは2,684.8千^m₃、同10.1%の増加となった。

建築向けは8,783.2千^m₃、同10.8%と7期連続の増加となった。このうち官公需向けは1,337.0千^m₃、同12.6%、住宅向けは4,292.2千^m₃、同6.2%、非住宅向けは3,154.0千^m₃、同16.8%といずれも増加となった。

2．地域別の動向

経済産業局(沖縄は内閣府沖縄総合事務局)別に見ると、**北海道**は568.9千^m₃、前年同期比7.2%の増加。このうち土木向けは199.7千^m₃、同6.2%増加、建築向けは369.2千^m₃、同7.8%と7期連続増加。

内訳は、港湾・空港向け(同 11.9%)、道路向け(同 19.1%)、官公需向け(同 3.8%)が減少、鉄道・電力向け(同39.5%)は引き続き新幹線関連の需要から増加、住宅向け(同20.0%)、その他向け(同13.8%)、非住宅向け(同0.4%)が増加。

東北は1,416.3千^m₃、前年同期比79.6%と、復興需要と前年の反動増から前期に引き続き大幅な増加。このうち土木向けは675.1千^m₃、同100.0%、建築向け741.2千^m₃、同64.4%と共に4期連続の増加。

内訳は、港湾・空港向け(同276.7%)、鉄道・電力向け(同121.8%)、非住宅向け(同106.3%)、その他向け(同66.3%)、道路向け(同65.4%)、官公需向け(同51.7%)、住宅向け(同33.5%)が大幅増加。

関東は5,233.6千^m₃、同4.9%と7期連続増加。このうち土木向けは1,397.8千^m₃、同 2.4%減少、建築向けは3,835.8千^m₃、同7.9%と7期連続増加。

内訳は、道路向け(同 28.2%)、鉄道・電力向け(14.0%)が減少するものの、港湾・空港向け(同90.9%)、非住宅向け(同14.1%)、その他向け(同6.0%)、住宅向け(同5.1%)、官公需向け(同5.0%)が増加。

中部は1,449.6千^m₃、同 4.0%と前期に引き続き減少。このうち土木向けは575.4千^m₃、同 14.2%と6期連続の減少、建築向けは874.3千^m₃、同4.2%の増加。

内訳は、鉄道・電力向け(同 51.7%)は新幹線工事終了の影響で大幅減少、道路向け(同 8.9%)、官公需向け(同 6.8%)、住宅向け(同 0.2%)が減少。港湾・空港向け(同44.1%)、非住宅向け(同13.6%)、その他向け(同1.3%)は増加。

近畿は1,639.3千^m₃、同13.0%と5期連続増加。このうち土木向けは678.3千^m₃、同16.3%の増加、建築向けは961.0千^m₃、同10.8%と共に増加。

内訳は、港湾・空港向け(同 42.7%)、住宅向け(同 2.8%)が減少するものの、鉄道・電力向け(同22.8%)、官公需向け(同22.3%)、非住宅向け(同21.8%)、その他向け(同20.6%)、道路向け(同18.7%)が増加。

中国は933.7千^m₃、同 0.5%と前期に引き続き減少。このうち土木向けは425.1千^m₃、同 6.2%と9期連続の減少、建築向けは508.7千^m₃、同4.9%と8期連続の増加。

内訳は、鉄道・電力向け(同 30.0%)、その他向け(同 14.3%)、道路向け(同 6.1%)、非住宅向け(同2.4%)が減少。港湾・空港向け(同60.4%)、官公需向け(同28.9%)、住宅向け(同2.7%)は増加。

四国は720.5千^m₃、同20.3%と前期に引き続き増加。このうち土木向けは365.2千^m₃、同27.8%と増加、建築向けは355.3千^m₃、同13.5%と7期連続増加。

内訳は、港湾・空港向け(同49.9%)、その他向け(同27.5%)、官公需向け(同26.1%)、道路向け(同24.8%)、鉄道・電力向け(同21.8%)、非住宅向け(同13.1%)、住宅向け(同7.4%)などすべてで増加。

九州は1,483.4千^m₃、同5.4%の増加。このうち土木向けは590.3千^m₃、同1.4%の増加、建築向けは893.2千^m₃、同8.2%の増加。

内訳は、鉄道・電力向け(同160.0%)が前期に引き続き、新幹線工事で大幅増加、官公需向け(同17.1%)、住宅向け(同13.2%)、道路向け(同9.2%)は増加。港湾・空港向け(同 38.1%)、非住宅向け(同 4.6%)、その他向け(同 0.7%)が減少。

沖縄は291.2千^m₃、同 4.9%の減少。このうち土木向けは46.6千^m₃、同 15.4%、建築向けは244.6千^m₃、同 2.6%と共に減少した。

内訳は、その他向け(同14.8%)のみが増加。鉄道・電力向け(同 90.2%)、港湾・空港向け(同 49.4%)、道路向け(同 3.6%)、住宅向け(同 3.1%)、非住宅向け(同 2.7%)、官公需向け(同 0.8%)は減少。

3．月別の動向

月別に出荷動向をみると、4月が4,376.8千^m₃、前年同月比3.7%の増加、5月が4,581.6千^m₃、同24.1%の増加、6月が4,778.2千^m₃、同3.7%の増加となった。

このうち土木向けは、4月が1,586.3千^m₃、同1.9%の増加、5月が1,647.6千^m₃、同24.3%の増加、6月が1,719.5千^m₃、同0.8%と増加となった。

建築向けも、4月は2,790.5千^m₃、同4.8%、5月は2,934.0千^m₃、同24.0%、6月は3,058.7千^m₃、同5.4%の増加となった。

4．設備能力及び従業員数

6月末の全国のプラントの基数は1,814基で、前期末(24年3月末)より20基の減少、前年同期末(23年6月末)より59基減少した。月間生産能力は47,655千^m₃、前年同期比 3.1%の減少となった。

6月末の従業者数は、21,526人、前年同期末より736人(3.3%)減少となった。